

「第七回ガイド実践入門鎌倉研修」

～鎌倉に残る古都の遺産を訪ねて～

2017年2月6日（月）09：30～16：00 JGA 本部運営委員会研修レポート



春の到来を感じさせる暖かい日差しを浴びながら、鎌倉でのガイド実践研修が実施されました。東京から電車で約一時間西へ向かうと、そこは美しい緑と空気を体感できる静かな古都鎌倉です。参加者数は、合計30名(会員25、非会員1名と矢木野・乗田講師、森・長屋運営委員4名)でした。

長谷駅から高德院大仏へ向かっていく途中は、講師による鎌倉の歴史やポイント解説をイヤフォンガイドで耳に入れて周りを確認しながらゆっくりと歩いていきました。



まず、高德院での乗田泰子講師(本部運営委員)のモデルガイディングと参加者のガイド実践練習を行った後は、再び解説を聞きながら長谷寺へ徒歩で向かいました。長谷寺では満開の梅から華やかに迎えられ、参加者全員の気持ちが上がりました。ここでは矢木野さか恵講師(JGA 副会長)のモデルガイディングに続いて参加者のガイド練習を行い、長谷駅から鎌倉駅へ戻りました。



午後は、お土産品やレストランなどが集まる小町通りでランチ休憩をし、鶴岡八幡宮の三の鳥居で再集合し、同様に鶴岡八幡宮でのモデルガイディングに続く実践練習を行い、研修を終了しました。東京を離れて終日の実践研修経験は初めてだったにもかかわらず、参加者の意識もエネルギーレベルも時間の経過とともにどんどん上がっていき、最後の練習では個々の上達ぶりがはっきりと分かりました。「習う。練習する。修正する。慣れる。」のアプローチ法は、ガイドスキルアップの王道だと実感しました。

以上。

(レポート作成：乗田泰子)